

未来への一步

~Let's create the future together~

第049号

はりゴン

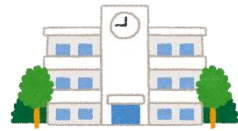
発行：兵庫県立播磨特別支援学校

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>

FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第55回 入学式



4月8日(木)、第55回入学式を挙りました。普通科・職業科7名、就業技術科32名、合計39名が新たな仲間として加わりました。新型コロナウイルス感染症予防の観点に立って、式の形式を一部変更しての実施となりました。それぞれの夢に向かって頑張ってくれることを教職員一同、心より願っています。



対面式 部活動紹介

4月12日(月)、生徒会主催の対面式と部活動紹介を実施しました。対面式では、先輩になる2・3年生と緊張ぎみの1年生が初めて対面し、在校生が新生をあたたく迎え入れました。生徒会長が歓迎の言葉を述べ、新生代表が「これからの学校生活を頑張っていきたい」と抱負を述べました。続いて、生徒会役員の紹介がありました。

また部活動紹介では、活動内容を口頭で説明したり、練習風景の動画を上映するなど、工夫を凝らして行いました。新生については、部活の見学・体験を3回ほど行い、緊急事態宣言解除後に本格的に活動する予定です。



入舎式 棟長任命式

寄宿舎では、4月8日(木)入舎式を行いました。男子5名、女子2名の合計7名が新しく寄宿舎の仲間に加わりました。これから慣れない寄宿舎生活が始まります。新生の不安が1日でも早くなくなるように、先輩と職員で支えていきたいと思ひます。

4月12日(月)に、棟長任命式を行いました。任命証書を受け取った各棟の代表は、責任と自覚を持ちながら寄宿舎生活を盛り上げていってくれると思ひます。



寄宿舎の火災避難訓練

4月20日(火)に第1回避難訓練を実施しました。それぞれの棟からの避難経路や、火災時に避難する時の注意事項を再確認しました。1年生は初めての経験で、そのうえ夜の訓練だったので、緊張気味でしたが、生徒は職員の指示に従って避難経路をしっかりと確認することができました。

いつ起こるか分からない「突然」に対応できるように、大切な命を守るために、真剣に取り組むことができました。



オリジナルソングの取材～神戸新聞～

昨年度に寄宿舎では、コロナ禍の寄宿舎生活でいろいろ感じたことを歌にしたオリジナルソングを作りました。その歌の事で、4月21日(水)に神戸新聞社から取材を受けました。

自分たちが作った歌について取材を受けることに、最初は少し緊張気味でしたが、インタビューが進むにつれて笑顔も増え、和やかな雰囲気取材を受けました。作った生徒たちは、わくわくした時間を過ごすことができました。この取材を機に、始まったばかりの寄宿舎生活に期待をふくらませてもらえたらとの思ひをこめて、1年生の前で歌を披露しました。



3度目緊急事態宣言

兵庫県に3度目の緊急事態宣言が発出され、さらに5月末まで延長されました。これから予定されている行事にもいろいろと影響が出てくるかもしれませんが、変更等の場合はホームページ上に掲載させていただきますのでご確認ください。

4月27日（火）、昼休みに揖保川図書館より、たつの市移動図書館車「かわちどり号」が来校しました。

毎月1回の訪問があり、読書が好きな生徒はいつも楽しみにしています。読みたい本をリクエストして届けていただく事も可能です。興味があるテーマを、たくさんの本の中から選ぶことができます。コミュニケーションをとることが苦手な生徒もいる中で、自ら考え、判断して行動することは、将来の自立や社会参加に向けての体験になります。

1日も早い新型コロナウイルスの感染終息を願いつつ、学校では生徒配布用マスクの作成や課題等の発送や、再開後の学習が効率よく進められるよう準備を進めています。

今一度正しい予防方法を確認し、「自分がかからない」「ほかの人にうつさない」ように気をつけましょう。こまめな手洗い・うがいの徹底、マスクの着用を含むせき・くしゃみエチケット、換気をできるだけする、不要不急の外出を控えるなど。

今しかできないことをできることから取り組んでみましょう。

ヒントになりそうなことを、播磨特別支援学校の先生方がHPでお伝えしています。例えば、掃除や料理など家事全般や、読書や運動やものづくりに取り組むなどです。「頑張った」「楽しかった」と思える時間を少しでも増やせる